

大阪府警新設の「虐待対策室」

所在不明児 初の保護

名古屋まで追跡

大阪府警児童虐待対策室は8日、昨年12月から約4カ月間にわたり所在不明となっていた大阪府茨木市の生後8カ月の男児を名古屋市内で今月6日に保護したと発表した。全国初の虐待専門部署として今年4月に

発足した対策室では、所在不明児の行方を府外まで追跡する方針を示していたが、不明児を保護するのは今回が初めて。

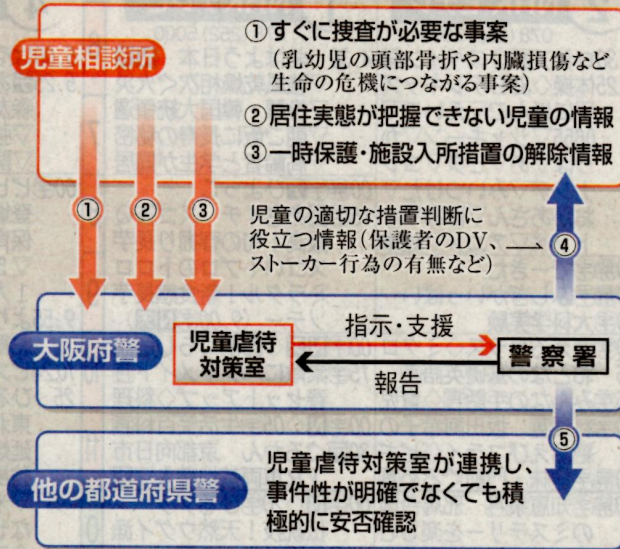
対策室によると、男児は父（25）と生活していたが、両親が不仲になり、実母とともに茨木市の母方の祖

母宅へ身を寄せていた。その後、復縁を求めた実父が2人を連れ出したまま行方が分からなくなっていた。男児が昨年12月、茨木市の4カ月児健診を受診しなかったため、市が今年2月、地元の児童相談所（児相）に通告。祖母も児相の求めに応じて翌3月、男児の行方不明者届を府警に提出していた。

対策室はその後、3人が愛知県内のビジネスホテルを転々としているとの情報入手。実父には出店荒らした」としている。

わたり所在不明だったのに、関係機関で情報を共有していなかった問題が発覚していた。こうした事件の教訓から、府警は今年2月、児相

児童虐待に関する情報共有の仕組み



ワースト返上へ児相と連携

児童相談所などと虐待に関する連携強化を目指し、今春発足した大阪府警の児童虐待対策室。大阪では近年、児相への虐待通告件数が全国最悪の状況が続いており、尊い子供たちの命を全力で救おうと、新たな試みに挑んでいる。

対策室は少年課内に設置され、従来の児童虐待担当を約2倍に増やした17人体

制。協定を結んだ児相や各自治体と家庭内暴力が疑われる事案などの情報共有を図っており、児相が保護児童を親元に戻す際は、児相の判断に役立つ情報を提供するという。

さらに、所在不明児の対応も強化。従来は不明児が府外に転出したとみられる場合、転出先に情報提供する程度だったが、新体制で

は他の都道府県警とも連携し、事件性が明確でなくても積極的に安否確認していく方針を打ち出した。府警によると、虐待を受けた疑いがあるとして児相に通告した18歳未満の子供は昨年、8536人と3年連続で全国ワースト。昨年11月、親の暴行で死亡したとみられる堺市北区の梶本樹李ちゃん(死亡当時3)

の遺体が見つかった事件では、樹李ちゃんが長期に

は「府外まで所在不明児を捜す新たな体制や、警察の機動力を生かすことができたと」している。

を所管する府と大阪市、堺市と虐待の情報共有に関する協定を締結。4月1日付で対策室を発足させた。府警幹部は「大阪で多発する虐待を減らしていけるのか、対策室の今後の成果にも注目したい」と話している。

名刀 銀座長州屋
日本刀販売・買取・通商部(銀座)
区銀座1-10-4(徳島県長州市)
TEL:03-5561-1011
FAX:03-5561-1012
http://www.choshuuya.co.jp